

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容

No. 1	生活科指導法Ⅰ（※）	2
No. 2	生活科指導法Ⅱ（※）	2
No. 3	算数科指導法Ⅰ（※）	3
No. 4	算数科指導法Ⅱ（※）	4
No. 5	生徒指導・教育相談及び進路指導等の理論と方法（※）	5
No. 6	特別支援教育基礎論（※）	5
No. 7	視覚障害者の心理・生理・病理（※）	6
No. 8	聴覚障害者教育論	7
No. 9	知的障害者教育総論（※）	7
No. 10	肢体不自由者教育総論	8
No. 11	病弱者教育総論	8
No. 12	言語・情緒障がい者教育総論（※）	9
No. 13	重複障害等教育総論	9
No. 14	LD等教育総論（※）	10
No. 15	肢体不自由者の心理、生理、病理及び教育課程等	10
No. 16	英語コミュニケーションⅢ	11
No. 17	英語コミュニケーションⅣ	11
No. 18	異文化理解Ⅰ	12
No. 19	英語科指導法Ⅲ（※）	12
No. 20	材料加工学及び実習（※）	13
No. 21	メカトロニクス及び実習（※）	14
No. 22	情報工学Ⅰ（※）	15
No. 23	技術科指導法Ⅱ	15
No. 24	データベースⅡ（※）	16

（※）持ち物の案内がある科目です。各自ご準備をお願いします。

なお、購入等が必要なテキストについて、購入等に関する斡旋等を行っておりません。
ご自身でお調べいただき、ご準備いただくようお願いいたします。

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容 (R8.4時点) 申請予定

No.	1	講義名	生活科指導法Ⅰ	開催日	7/25、7/26	講師名	須本 良夫
講義内容	<p><講義のねらい> 生活科の教科特性を考え、指導目標とその目標の具現に向けて、多彩な教材についての理解を図る。さらに、小学校低学年の実態を考えていく上での、社会の現状や家庭との連携の在り方など様々な観点から低学年の実態を探る。また、新学習指導要領における児童の実態に基づいた、活動をとおした気付きの在り方について考え、気付きの質の高まり（社会認識、自然認識、自己認識）を育成するための授業構成法およびその授業実践についての方略を探る。</p> <p><講義計画> 1. 生活科の経緯と特性、 2. 目的・目標論、学習指導要領 3. 低学年児童の実態 4. 自然認識の発達と生活科 5. 社会認識の発達と生活科 6. 年間指導計画、授業設計法 7. 試験</p>						
持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・2日目以降、マジック（太字）や色鉛筆、クレパス等があるとよいです。 ・教材費に関して必要な場合は、初日に連絡を致します。 (現時点では特になし) 						
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは特になし 						

No.	2	講義名	生活科指導法Ⅱ	開催日	8/1、8/2	講師名	須本 良夫
講義内容	<p><講義のねらい> 生活科の教科特性を考え、指導目標とその目標の具現に向けた多彩な教材についての理解を図る。さらに、小学校生活科の授業の実際や体験の意味を考え、活動をとおした気付きの在り方について考える。その上で、気付きの質の高まりをめざす授業構成法およびその授業実践について単元計画及び指導案を作成し、互いに提案・吟味・修正を行う。</p> <p><講義計画> 1. 家や学校や地域の生活を取り扱う授業実践 2. ものづくりや遊びを通した授業実践 3. 命や安全を扱う授業実践 4. 単元作成および指導案作成 5. 指導案提案、修正、吟味 6. 試験</p>						
持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりのためのテープやガムテープ、水性マジック（太字）や色鉛筆、クレパス等があるとよいです。 						
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは特になし ・生活科指導法Ⅰの最後に連絡をします。 						

No.	3	講義名	算数科指導法 I	開催日	7/4, 7/5	講師名	河崎 哲嗣
講義内容	<p><授業の概容と到達目標> 小学校の教員として算数科を指導するために必要となる教科の内容を「理論重視」で講義する。算数の系統性・教科的背景・理論等を重視し、また数学的活動とは何かを実感できるような基本的知識と技能習得の教材を扱う。(i) 現在の数学教育へ至った歴史的背景を知る。(ii) 教科教育としての今日的課題を知り、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の各領域の系統性を「子どもの認識」を重視しながら理解する。(iii) 授業研究の具体的方法を学習する。</p> <p><授業の計画> 1. 算数の位置づけと特徴, 学習指導要領における目標と内容 (新・旧) 2. 未来志向を意識した数学教育史を考える (明治から令和へ, プログラミング学習の状況等) 3. 「数と計算」(数の構造と演算) と今日的課題 4. 「測定」(量の分類と性質、量感養成の必要性、複合量と割合) 台形則・長さ・重さ・かさ 5. 「図形」(平面図形におけるユークリッド幾何、作図、角、空間図形、論証、その他の幾何) 6. 「変化と関係」「データの活用」(関数の考え、資料の整理) ※ICT 活用 7. 授業研究 8. 課題提出や確認テスト</p>						
持ち物	<p>【テキスト】 ①守屋誠司(編), 『小学校算数 改訂第2版(教科カシリーズ)』, 玉川大学出版部, ¥2,640(税込) ②文部科学省, 『小学校学習指導要領解説(平成29年告示)算数編』, 日本文教出版 ※WEBのPDF閲覧可</p> <p>【持ち物】 直定規・コンパス・分度器・はさみ・のり・セロテープ・電卓・八つ切り画用紙・PC端末(タブレット・スマートフォン等)持ち込み可 ※但し学内WIFI使用はできませんので、各自でネット接続できるように設定して参加してください。その他必要なものは、講義内で指示します。</p>						
留意事項	<p>受講生の数学内容の定着状況を見て、内容を柔軟に変更して対応する場合があります。土日は学内の食堂は休みですので昼食の準備をしてください。講座の終わりに確認テストや課題提出を実施する場合において、使用したレジュメや資料やテキスト等の持ち込みを認めますので、上記の準備物は忘れないようにしてください。</p>						

No.	4	講義名	算数科指導法Ⅱ	開催日	7/18, 7/19	講師名	河崎 哲嗣
講義内容	<p><授業の概容と到達目標> 新しい学びは「多様な授業形態の実例」「地域や専門分野のボランティアとの協働」「子どもの活動的・主体的な授業参加」によって実現できる。そこで、算数と広く日常生活・歴史・文化・伝統等にも関わる教育内容について、実践・演習形式で課題を考える。(i) 子どもの認識に立った算数教育の今日的課題を見抜くことができる。(ii) 小中高大を体系的に見通した教科内容のカリキュラムを理解する。(iii) 算数を核にしてSDGsのような問題解決ができる (ICT活用等)。(iv) 総合的な学習にも結びつく思考力・判断力・表現力等を養う教材を検討する。</p> <p><授業の計画> 1. 算数的活動 (問題解決学習と数学的モデリングについて、創造的思考力とフェルミ推定) 2. 「数と計算」「図形」の融合教材の授業実践 (長方形模様と正方形模様、デザイン) 3. 「空間図形」に関する教材の授業実践 (二面角と展開図から作る立体、家・車などの模型) 4. 「不定形の面積導出」の授業実践 (台形則による近似計算、環境問題・死海・オゾンホール) 5. 「理科と算数」を繋ぐ授業実践 (地球と太陽の関係、赤道型 (中国式) 日時計製作) 6. 算数授業におけるアクティブ・ラーニング (平均と散らばり、一票の格差) 7. 算数指導 (教科書の使い方、授業の進め方、教具の使い方、数字・記号の書き方、ノート指導、家庭学習、評価と評定、学習指導案について) 8. 課題提出や確認テスト</p>						
持ち物	<p>【テキスト】 ①守屋誠司 (編), 『小学校算数 改訂第2版 (教科カシリーズ)』, 玉川大学出版部, ¥2,640 (税込) ②文部科学省, 『小学校学習指導要領解説 (平成29年告示) 算数編』, 日本文教出版 ※WEBのPDF閲覧可</p> <p>【持ち物】 直定規・コンパス・分度器・はさみ・のり・セロテープ・電卓・八つ切り画用紙・PC端末 (タブレット・スマートフォン等) 持ち込み可 ※但し学内WIFI使用はできませんので、各自でネット接続できるように設定して参加してください。その他必要なものは、講義内で指示します。</p>						
留意事項	<p>受講生の数学内容の定着状況を見て、内容を柔軟に変更して対応する場合があります。講座の終わりに確認テストや課題提出を実施する場合において、使用したレジュメや資料やテキスト等の持ち込みを認めますので、上記の準備物は忘れないようにしてください。</p>						

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容（R8.4時点）申請予定

No.	5	講義名	生徒指導・教育相談及び進路指導等の理論と方法	開催日	8/17, 8/20	講師名	後藤 綾文 成田 絵吏 中島 葉子
講義内容	<p>【教育相談】 教育相談の意義や理論、基礎的知識、心理的に不適応を起こしやすい子ども達についての理解を深め、適切な支援をするための基礎知識、理論、技法の習得をテーマとする。</p> <p>(1) 教育相談の意義や理論 (2) 子どもの不適応やそのサインに気づき、支援するための必要なカウンセリングの基礎的な姿勢や技法 (3) 教育相談の具体的な取り組みについて、子どもの発達段階、校内体制、学内外の連携</p> <p>【生徒・進路指導論】 子どもを取り巻く環境を踏まえながら、生徒指導及び進路指導に関わって生じる様々な課題の理解と対応について以下の観点から深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導、進路指導の理論及び方法 ・いじめ、不登校等への理解と対応 ・進路指導やキャリア教育の現代的課題と対応 						
持ち物	筆記用具を持参すること。						
留意事項	特定のテキストは使用しない。 必要な資料は当日配布予定。						

No.	6	講義名	特別支援教育基礎論	開催日	7/18、19	講師名	坂本裕
講義内容	<p>【講義概要】 特別支援教育の理念、方向性などの基本的な事項を理解することを目指す。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育の基本理念 2. 特別な支援が必要な児童生徒の基本的捉え 3. 特別支援学校・特別支援学級の運営方針 4. 知的障害教育の実践理念 						
持ち物	<p>【テキスト】 坂本 裕編. 新訂2班 特別支援学級はじめの一步. 明治図書. *講義日までに印刷書籍または電子書籍のいずれかを購入しておいてください。</p>						
留意事項							

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容（R8.4時点）申請予定

No.	7	講義名	視覚障害者の心理・生理・病理	開催日	8/6, 8/7	講師名	池谷 尚剛
講義内容		<p>視覚障害者の心理・生理・病理について、盲教育・弱視教育の体系に基づいて基本事項を把握することを目指す。視覚の生理・病理では、視覚の構造と生理、視機能の基礎と視覚補助具による支援、眼科医療との連携と視覚障害原因の推移について学習する。また、心理発達については、触知覚（触察）と点字に関する学習、空間感覚・聴覚（音源）の活用と移動・歩行との関係、中途視覚障害者の心理リハビリテーションについて学習する。尚、第二日目に、岐阜県立岐阜盲学校を会場として、視覚障害教育の実際について学習することを予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 視覚障害教育の現状と課題 2) 視覚の構造と生理、視機能の基礎 3) 視覚障害原因の変遷と主な眼疾患 4) 視覚障害乳幼児の心理発達と支援 5) 中途視覚障害者の心理リハビリテーション 6) 触察指導、歩行指導、支援機器の実際 7) 視覚障害教育の今後の動向 					
持ち物		<p>テキストは、以下の書籍を各自でご用意下さい。 青柳まゆみ・鳥山由子編著：新 視覚障害教育入門、ジアース教育新社</p>					
留意事項		<ol style="list-style-type: none"> 1) 講習会場は、第一日目（8月6日）は岐阜県総合教育センター、第二日目（8月7日）は岐阜県立岐阜盲学校を予定しています。尚、岐阜盲学校には駐車場はありませんので、公共交通機関等をご利用下さい。 2) 岐阜盲学校における活動では、次の準備をお願いします。 <ol style="list-style-type: none"> ①活動しやすい服装 ②活動等を記録する媒体（スマホ、デジカメ等） ③上履き（スリッパ等） 					

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容（R8.4時点）申請予定

No.	8	講義名	聴覚障害者教育論	開催日	8/1、2	講師名	村瀬 忍
講義内容	<p>本講義では、聴覚障害の特性を理解し、聴覚障害のある人の教育的支援の方法について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚器官の構造と機能 2. 聴覚障害の種類と聞こえの特徴 3. 聴覚補償の方法 4. 聴覚と言語発達の評価 5. 聴覚障害者のコミュニケーション手段 6. 乳幼児の指導 7. 聴覚障害特別支援学校の教育課程 8. 難聴特別支援学校・通級指導教室の指導 						
持ち物							
留意事項	<p>教科書はなし。</p> <p>参考図書：特別支援免許シリーズ「聞こえの困難への対応」 宇高二良・長嶋比奈美、加藤哲則編著 建帛社</p>						

No.	9	講義名	知的障害者教育総論	開催日	7/25、26	講師名	坂本 裕
講義内容	<p>【講義概要】 知的障害者の教育における基本的事項，特に，身辺処理の指導について理解することを目指す。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知的障害者の教育の基礎知識 2. 排泄 3. 着替え 4. 入浴・洗面 5. 食事 						
持ち物	<p>【テキスト】坂本 裕著. 遅れのある子どもの身辺処理支援ブック. 明治図書. *講義日までに各自で購入し，準備してください。</p>						
留意事項							

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容（R8.4時点）申請予定

No.	10	講義名	肢体不自由者教育総論	開催日	8/22、23	講師名	菊池 紀彦
講義内容	<p>肢体不自由の代表的疾患である脳性麻痺について触れるとともに、重度・重複障害（重症心身障害）、医療的ケアを濃厚に必要とされる人たち（超重度障害児）について概説する。その上で、彼らに対する心理学的評価と発達支援、家族支援について講義する。講義をとおして、肢体不自由のある人や家族に対する支援のあり方、教育・医療・福祉・労働等における切れ目のない支援のあり方について理解を深めたい。</p>						
持ち物							
留意事項	講習の最後に筆記試験を行います。						

No.	11	講義名	病弱者教育総論	開催日	8/12、8/13	講師名	桑田 弘美
講義内容	<p>病弱とは、病気が長期にわたり、または長期にわたる見込みのある者で、その間に医療又は生活規制を必要とする状態を言います。特に、子どもの場合、小児慢性特定疾病の対象となるような慢性疾患をもっていることが多いです。しかも、疾患の内容によって、療育上の困難さの程度や状況が異なるため、子どもたちを教育するためには、疾患の特徴を理解しておく必要があります。この講義では、医療の実際等を踏まえ、病気をコントロールしながら成長していく子どもたちの現状について解説します。皆様が日頃、教育現場で感じた課題などを討論できればと思います。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病弱者の概要（小児慢性特定疾病、社会資源、多職種連携） 2. 子どもの病気に対する理解と心理 3. 呼吸器・循環器疾患の特徴と療育 4. 内分泌疾患・悪性新生物の特徴と療育 5. 神経系疾患・アレルギー疾患の特徴と療育 6. 日常的ケアと医療的ケアの実際 <p>まとめ</p>						
持ち物							
留意事項	講義では、資料を配布します。						

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容（R8.4時点）申請予定

No.	12	講義名	言語・情緒障がい者教育総論	開催日	8/8、8/9	講師名	村瀬 忍
講義内容	<p>本講義では、言語障害・情緒障害の特性を理解し、言語障害のある人および情緒障害のある人の教育的支援の方法について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 言語障害の種類 2. 言語障害と言語障害のある人の特性 3. 言語障害児の教育的支援 4. 情緒障害と情緒障害のある人の特性 5. 情緒障害の教育的支援 6. 通級による指導の制度と支援 						
持ち物	<p>教科書：「子どもが吃っていると感じたら 第2版」大月書店 廣瀧忍・堀彰人編著</p> <p>※受講日までに、受講者が各自で用意する。当日の販売はなし。</p>						
留意事項							

No.	13	講義名	重複障害等教育総論	開催日	9/12、9/13	講師名	神野 幸雄
講義内容	<p>本講では、重複・LD等および聴覚障害のある児童生徒の教育的ニーズの理解や支援について解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害のある子どもの理解と特別な教育的支援ニーズ 2. 重複障害のある子どもの教育的ニーズ 3. 重複障害のある子どもの学校教育の実際と支援内容 4. 発達障害（LD、ASD、ADHD）のある子どもの教育的ニーズ 5. 発達障害（LD、ASD、ADHD）の学校教育の実際と支援内容 6. 聴覚障害のある子どもの教育的ニーズ 7. 聴覚障害のある子どもの学校教育の実際と支援内容 8. まとめ 						
持ち物							
留意事項							

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容 (R8.4時点) 申請予定

No.	14	講義名	LD等教育総論	開催日	7/23, 7/24	講師名	平澤 紀子
講義内容	<p>本講義では、LD、ADHD、高機能自閉症・アスペルガー症候群、視覚障害について、その特性の理解と支援、教育課程、学校教育場面での具体的なアセスメントや支援のあり方について理解を深める。以下、具体的な予定内容である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. LDの心理・行動特性の理解 2. LDへの支援と教育課程 3. ADHDの心理・行動特性の理解 4. ADHDへの支援と教育課程 5. 高機能自閉症・アスペルガー症候群の心理・行動特性の理解 6. 高機能自閉症・アスペルガー症候群への心理・行動特性に応じた支援 7. 高機能自閉症・アスペルガー症候群の教育課程 8. 視覚障害の心理・行動特性の理解と支援 						
持ち物	<p>テキストとして以下を使用します。 「特別の支援を必要とする子どもへの教育」ジダイ社 「応用行動分析学から学ぶ子ども観察力&支援力養成ガイド改訂版」学研 事前に購入をお願いします。</p>						
留意事項							

No.	15	講義名	肢体不自由者の心理、生理、病理及び教育課程等	開催日	8/24, 25	講師名	谷 浩一
講義内容	<p>(1日目)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 養護学校教育の義務化までの歴史と義務化以後、および特別支援教育の開始前後の肢体不自由教育について 2. 肢体不自由療育の歴史 3. 肢体不自由の代表的な疾病 (ex. 脳性マヒ) およびその特性や指導の際の留意点 4. 車椅子介助の方法 <p>(2日目)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 肢体不自由教育における合理的配慮の視点 (ヒヤリハット事例等を参考に) 6. 肢体不自由児者への教育課程「養護・訓練」の成立と展開および「養護・訓練」から「自立活動」への変遷過程に関する解説 7. 動作法を通じたアセスメントと個別の指導計画の立案及び指導の展開 						
持ち物							
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料はこちらで用意する。 ● 2日目は動作法の実習を行うので体操服など動きやすい服装を着用のうえ受講していただいで構わない。特に女性はスカート着用不可。 						

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容 (R8.4時点) 申請予定

No.	16	講義名	英語コミュニケーションⅢ	開催日	7/25, 7/26	講師名	巽 徹
講義内容	<p>「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」それぞれの技能を高めるとともに、「聞いたり、話したり」「読んだり、話したり」するなど、複数の技能を統合させたタスクを通して、コミュニケーション力を身につけることをねらいとする。</p> <p>授業形態は、個人、ペア、グループなど様々な形で行う。英語指導に必要となる英語力を身につけることを目標とする。授業は英語で行い、受講者の発言・レポートなどもすべて英語の使用を基本とする。授業では、まとまった内容をわかりやすい英語で表現したり、英語を用いて積極的にコミュニケーションを続けたりする活動を行う。具体的にはグループによるレポートやプレゼンテーション、web上の情報を読み取りレポートしたり、英字新聞を読んでその内容についてのプレゼンテーションやディスカッションを行ったりする。</p> <p>英語使用の内容や授業中のタスクへの取り組みを加味した上で、英語によるコミュニケーション能力を問う試験を実施する。</p>						
持ち物							
留意事項	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの単位を修得していることが望ましい。						

No.	17	講義名	英語コミュニケーションⅣ	開催日	8/1, 8/2	講師名	巽 徹
講義内容	<p>英語コミュニケーションⅢの受講内容を受けて、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」それぞれの技能をさらに高めるとともに、「聞いたり、話したり」「読んだり、話したり」するなど、複数の技能を統合させたタスクを通して、コミュニケーション力を身につけることをねらいとする。</p> <p>授業形態は、個人、ペア、グループなど様々な形で行う。英語指導に必要となる英語力を身につけることを目標とする。授業は英語で行い、受講者の発言・レポートなどもすべて英語の使用を基本とする。授業では、まとまった内容をわかりやすい英語で表現したり、英語を用いて積極的にコミュニケーションを続けたりする活動を行う。具体的にはグループによるレポートやプレゼンテーション、web上の情報を読み取りレポートしたり、英字新聞を読んでその内容について、聞き手の興味を高めるようなプレゼンテーションや高度な内容のディスカッションを行ったりする。</p> <p>英語使用の内容や授業中のタスクへの取り組みを加味した上で、英語によるコミュニケーション能力を問う試験を実施する。</p>						
持ち物							
留意事項	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの単位を修得していることが望ましい。						

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容 (R8.4時点) 申請予定

No.	18	講義名	異文化理解 I	開催日	7/11, 7/12 7/18, 7/19 (いずれも午前)	講師名	David Barker
講義内容	<p>This class provides an introduction to the topic of cross-cultural understanding. Through looking at a number of key topics, students will learn how culture both reflects and shapes our daily lives. Students will develop basic competence in cross-cultural communication and learn how to interact with people from other cultures in a positive and non-judgmental way.</p> <p>この講義は、異文化理解に関する話題の導入である。主要な話題に触れ、文化がどのように我々の生活に反映し、影響するかを学習する。基本的な異文化コミュニケーション能力と、異文化を背景に持つ人と肯定的でかつ偏りなく交流することができる力を養う。</p>						
持ち物							
留意事項							

No.	19	講義名	英語科指導法Ⅲ	開催日	7/4、7/5	講師名	瀧沢 広人
講義内容	<p>2020年度からの小学校5・6年の外国語の教科化及び3・4年における外国語活動の新設に伴い、中学校英語教育も小学校英語教育の理解なしには授業改革はできない時代となっている。新しい学習指導要領では、「コミュニケーションを行う目的や場面、状況」「相手意識」「言語活動を通じて」等のキーワードが存在し、中学で新たに履修となる「新文法」もある。講義では、適宜、学習指導要領解説編にも触れながら、実演を絡め、中学校における英語指導法についてワークショップ形式で、活動を体験していただく。</p> <p><主な内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ①英語授業を楽しくするには？ ②学習指導要領をどのように読むか？ ③授業プランを作ってみよう ④授業プラン交流会 ⑤教科書をどう教えるか ⑥英語指導と評価 ⑦AI時代の英語教育 ～生成AI及びICT活用の英語授業～ ⑧ミニ模擬授業 						
持ち物	<p>◎持参するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』 ・筆記用具 ・（必要に応じ）パソコン 						
留意事項	<p>◎参加型の講義になるため、どうか失敗を恐れず、参加下さい。</p> <p>◎2日目には、ミニ模擬授業を行ってもらっても予定しています。</p> <p>1日目を終え、自宅などで、翌日のミニ模擬授業の準備が必要なこともあります。</p>						

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容 (R8.4 時点) 申請予定

No.	20	講義名	材料加工学及び実習	開催日	8/17, 8/18 8/24, 8/25	講師名	中田 隼矢
講義内容	<p>本講習では、令和7年度に実施した材料加工学I・IIで学んだ金属加工に関わる知識を用いて、はさみの製作を行う。1日目はガイダンス、はさみの製作方法の解説を実施し、各自で自身が製作するはさみの設計を行う。2日目は1日目に設計したはさみの製作を行う。成績評価は設計案や製作物によって評価を行う。</p>						
持ち物	<p>実習時には、長袖・長ズボン・運動靴などを着用すること（作業靴や安全靴は不要）。実習で必要となる工具や素材は大学で用意するが、作業手袋（例えば、トラスコ製グリップフィット手袋、3M製3M コンフォートグリップ グローブなど）を持参すること。細かい作業が多いため、指先に滑り止め加工が施されており、生地が薄めで手にしっかり密着するものが好ましい。軍手のような縫い目が粗い手袋は不可とする。</p>						
留意事項	<p>「メカトロニクス及び実習」と合同で実施するため、両講習を受講すること。 本講習の1日目は座学をオンラインで開講し、2日目は2グループに別れて「材料加工学及び実習」と「メカトロニクス及び実習」の実習を交互に受講する。 現状、以下のスケジュールでの実施を予定している。実習は岐阜大学教育学部美術・技術棟の実習室で実施する。グループ分けは座学の際に案内する。</p> <p>8月17日（月）：材料加工学及び実習（座学・オンライン） 8月18日（火）：メカトロニクス及び実習（座学・対面） 8月24日（月）：グループA 材料加工学及び実習（実習）， グループB メカトロニクス及び実習（実習） 8月25日（火）：グループB 材料加工学及び実習（実習）， グループA メカトロニクス及び実習（実習）</p> <p>※令和7年度に材料加工学I・IIを受講していない場合は、本講習を受講できない。</p>						

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容 (R8.4時点) 申請予定

No.	22	講義名	情報工学 I	開催日	8/3, 8/4	講師名	福岡 大輔
講義内容	<p>本講義では、情報分野に関する基本的知識とそのスキルの習得を目的とする。情報システムの発展史から始まり、情報の表現方法、コンピュータの構成原理、情報ネットワークの仕組みを学ぶ。さらに、プログラミングおよび計測・制御に関する基礎理論と演習を通して、情報技術を理解し活用できる能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システムとその発展 2. 情報の表現 (情報の基本単位と進数, メディア表現) 3. コンピュータの構成 (基本構成, 論理回路) 4. 情報ネットワーク (情報ネットワークの基本構成, 通信プロトコル) 5. プログラミング (演習を含む) 6. 計測と制御 I (センサの種類と役割) 7. 計測と制御 II (演習を含む) 8. まとめ 						
持ち物	各自 PC を持参することが望ましい。google Colab を利用してプログラミング演習を行うので、google アカウントの取得と、無線 LAN 接続可能な PC を持参することが望ましい。						
留意事項	インターネット環境は研修会場で提供する。						

No.	23	講義名	技術科指導法 II	開催日	8/5, 8/6	講師名	岩崎 翼
講義内容	<p>本講義は、中学校技術・家庭科技術分野 (以下、技術科) の教職科目である。教科専門科目の既習内容を整理しながら技術科の各領域について概論的な講義を実施するとともに、授業開発および題材研究に取り組む。講義を通して、技術科の教科経営に関する基礎的な事項を身に着け、見通しを持ったうえで技術科の指導に臨めるような資質・能力の養成をはかる。</p> <p>講義は以下の内容を予定する。</p> <p>第 1 回：技術科の基礎知識① 技術科の目的と意義／技術科の内容構成と目標 第 2 回：技術科の基礎知識② 技術科の歴史的展開／教科の沿革と変遷 第 3 回：技術科の授業設計と学習指導① 教育目標の分類／対応する学習方略／評価方法 第 4 回：技術科の授業設計と学習指導② 学習環境の整備維持と安全指導 第 5 回：技術科の学習方法と題材① A材料と加工の技術／B生物育成の技術 第 6 回：技術科の学習方法と題材② Cエネルギー変換の技術／D情報の技術 第 7 回：技術科の学習方法と題材③ 領域横断的な題材開発 第 8 回：まとめ、理解度確認テスト</p>						
持ち物							
留意事項							

令和8年度岐阜県教育委員会免許法認定講習講義内容（R8.4時点）申請予定

No.	24	講義名	データベースⅡ	開催日	9/5,9/6	講師名	福岡 大輔
講義内容	<p>データベースは、情報化社会を支える基盤技術の一つとなっており、各種情報通信システムで幅広く利活用されている。本講義ではデータベースのしくみと設計・構築・利活用の方法を、講義と実習を通して学び、その知識と技能を習得する。</p> <p>(1) データベース言語SQL演習：設計 (2) データベース言語SQL演習：製作 (3) データベースとネットワーク通信 (4) データベース言語SQLを用いたネットワークサービス演習：設計 (5) データベース言語SQLを用いたネットワークサービス演習：開発 (6) データベースとセキュリティ (7) 情報化社会の今後とデータベース (8) まとめ</p>						
持ち物	無線LAN接続可能なPCを持参することが望ましい（インターネット環境は会場で提供する）。						
留意事項	データベースⅠ（R4またはR7認定講習）を履修していることが望ましい。						